

9 消防費 1 消防費 1 常備消防費

組合消防費（環境政策課）

乙訓消防組合に対し、分担金を執行した。

9 消防費 1 消防費 2 非常備消防費

消防団活動費（環境政策課）

消防団は、郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、消防団長以下全消防団員が一致団結し、向日市及び乙訓消防組合向日消防署とともに協調を図りつつ、日夜防火防災活動に、また、各種訓練に鋭意努力し、市民生活の安心と安全確保に努めている。

1 組織



物集女、寺戸、森本、鶏冠井、上植野及び向日の各町に分団を置き、各分団は、分団長1人、副分団長1人及び班長3人の幹部並びに20数人の団員により編成され、それぞれ消防ポンプ自動車1台を配置している。

2 定員と現在員

条例定員 150人 現在員 150人

3 年報酬と費用弁償

(年 報 酬)

区 分	金 額
団 長	214,000 円
副 団 長	170,000 円
分 団 長	100,000 円
副 分 団 長	74,000 円
班 長	60,000 円
団 員	52,000 円

(費 用 弁 償)

区 分	金 額
災 害 出 動	3,000 円
警 戒 出 動	2,000 円
訓 練 出 動	2,500 円
賄 費	1,000 円

4 表 彰

(1) 京都府知事表彰	(精励章)	杉本 貴弘 さん
	(精励章)	松岡 祐一 さん
(2) 日本消防協会会長表彰	(精績章)	渡邊 伸一 さん
(3) 京都府消防協会会長表彰	(勤功章)	中田 貴弘 さん
	(精績章)	渡邊 吉浩 さん
	(精勤章)	富田 康裕 さん
	(精勤章)	清水 宏由 さん

5 研 修

京都府立消防学校へ団員を派遣し、次の教育を受講した。

- (1) 消防団員専科中級幹部科（第2期） （1日）2人
- (2) 消防団員特別教育操法指導科（第14期） （1日）5人

6 訓練・教育

(1) 訓練

ア 第20回京都府消防操法大会

平成20年7月27日（日）丹波自然運動公園において開催された第20回京都府消防操法大会に各分団より選抜された6名が出席し、2か月間の訓練の成果を発揮した。

イ 二市一町総合消防訓練（署・団合同訓練）

平成21年3月1日（日）向日市立第5向陽小学校において、乙訓二市一町総合消防訓練が実施され、正副団長、各分団5人の計33人が参加し、消防署と消防団の連携を強めた。

(2) 団員教養

平成20年11月2日（日）向日市立第6向陽小学校において、出火想定訓練を実施し、向日市消防団の災害対応能力向上を図った。

7 装備の点検整備

(1) 消防自動車の法定点検状況

整 備 項 目	台 数
定期車検整備台数	3 台
定期点検整備台数	3 台

(2) 機械器具の点検整備

各分団に配備している機械器具について、随時点検整備を実施した。

各分団配備の機械器具

機 械 器 具	個 数	
小型動力ポンプ	6	
救 助 器 具	パール	36
	スコップ	36
	鋸	36
	ハンマー	36
	ツルハシ	36
	掛矢	36

防火活動費（環境政策課）

消防行政に関する市民の声を的確に把握し、家庭における火災予防の普及徹底と防火思想の向上を図り、安全な地域づくりを目指すため、向日市女性防火推進員を置き、防火教室や救急講習を行い各種防火広報に努めた。

第8期女性防火推進員 30人

9 消防費 1 消防費 3 消防施設費

消防施設整備費（環境政策課）

1 消防水利の整備状況

消防水利を常に良好な状態に保つために、乙訓消防組合向日消防署員による点検パトロールや水利標識等の交換を実施している。

2 消防水利の状況

(1) 消火栓の状況

平成21年3月31日現在

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準	54	140	31	23	48	14	310
基準外	21	45	25	53	72	5	221
計	75	185	56	76	120	19	531

(2) 防火水槽の状況

平成21年3月31日現在

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
基準（有蓋） 40m ³ 以上	19	59	15	16	28	3	140
基準外（有蓋） 40m ³ 未満	2	4	1	3	0	0	10
計	21	63	16	19	28	3	150

(3) その他の水利の状況

平成21年3月31日現在

町別 区分	物集女町	寺戸町	森本町	鶏冠井町	上植野町	向日町	計
プール	2	4	1	0	1	1	9
池	4	5	0	0	0	1	10
その他	1	1	0	0	1	1	4
計	7	10	1	0	2	3	23

9 消防費 1 消防費 4 災害対策費

災害対策事業費（環境政策課）

1 防災パトロール

梅雨期を迎えるにあたり、災害時に危険が予想される箇所の総点検を関係機関の協力を得て実施し、万全を期した。

本年度のパトロールは、平成17年度から京都府によって「急傾斜地崩壊対策事業」が進められております向日町南山の急傾斜地を選定。防災パトロール終了後、今後の対策等について協議した。

(1) 実施日 平成20年5月20日（火） 午前9時30分～午前10時40分

(2) 点検箇所 「急傾斜地崩壊対策事業」（向日町南山 向日神社）

(3) 出席者 市長以下30人

2 防災会議

(1) 開催日 平成20年8月19日（火） 午後2時～午後3時

(2) 開催場所 向日市役所 大会議室

(3) 審議内容

ア 平成19年度 防災関連事業報告について

イ 平成20年度 防災関連事業計画（案）について

ウ 平成20年度 向日市地域防災計画（一般対策編、地震対策編、事故対策編及び資料編）の修正（案）について

エ 平成20年度 向日市消防・防災フェア（案）について

アからエの審議内容について承認を得た。

(4) 出席者 会長以下36人（防災会議委員20人、各対策部長9人、事務局7人）

3 防災対策

(1) 平成20年度に改正した地域防災計画の一般対策編、地震対策編、資料編を一部修正した。

(2) 自主防災組織の育成に努めた。 142組織

(3) 災害用備蓄物資及び防災用資機材の整備に努めた。

(4) 平成17年から実施の南山急傾斜地崩壊対策事業を継続施工した。

4 市民啓発対策

(1) 「防災とボランティア週間」の取組として、市役所ロビーにおいて阪神・淡路大震災の写真パネルや非常用備蓄品（非常食・飲料水・防災機器等）、京都西南部活断層地図、防災パンフレット等の展示（防災パネル展）を行い、市民への啓発を行った。

(2) 「広報むこう」等を活用し、市民への防災意識の高揚に努めた。

5 向日市消防・防災フェア

「向日市消防・防災フェア」は、消防関係、自主防災組織、防災関係機関の参加協力のもとに、市民とのふれあいの場を通じて、防火、防災意識の高揚を図るとともに、初期消火訓練や防災機器等の展示などを含めた各種の催しを実施することにより、火災や災害の発生を防止することを目的として実施した。

(1) 日 時 平成20年9月6日(土) 午前9時30分から午前11時45分

(2) 場 所 京都向日町競輪場内

(3) 主 催 向日市防災会議

(4) 参加団体 乙訓消防組合消防本部、向日市消防団、森本区自治防災会、森本地区浸水排除対策協議会、向日区自主防災会、西向日自主防災会、向日市女性防火推進員、西日本電信電話(株)みやこ支店、大阪ガス(株)京滋導管部、関西電力(株)京都支店、近畿コカ・コーラボトリング(株)・他

(5) 内 容

ア 消防コーナー

- ・子供レスキュー
- ・消防車展示コーナー
- ・煙体験コーナー

イ 救急コーナー

- ・訓練人形を使用し、心肺蘇生法を実施
- ・救急資器材を展示

ウ 消火訓練コーナー

- ・水消火器等で消火体験を実施

エ 危険物安全協会コーナー

- ・危険物品名当てコーナー
- ・PRパンフレット等の展示

オ 消防団コーナー

- ・消防団車両放水体験コーナー
- ・消防団活動活性化のPR

カ 防火相談コーナー・住宅防火コーナー

- ・来場者に対し防火全般についての相談コーナー
- ・住宅用火災警報器のデモ機展示、ポスター等の掲示

キ 自主防火防災会コーナー

- ・造水機による飲料水の造水実演
- ・初期消火訓練(水消火器、バケツリレー)
- ・非常食の試食コーナー担当

ク 防災コーナー

- ・起震車による体験
- ・資機材、パネル展示コーナー

- ケ 関西電力（株）広報展示コーナー
- コ 大阪ガス（株）広報展示コーナー
- サ 西日本電信電話（株）広報展示コーナー
- シ コカ・コーラ自販機コーナー
- ス 消防署・団・自主防災会合同一斉放水

(6) 参加者 3,000人

6 災害記録

大雨洪水警報等により、災害警戒本部を設置し、防災体制に万全を期した。

警戒種別	設置日	設置時間	閉鎖時間	動員数	備考
警戒本部 (事務局対応)	6月9日(月)	午後3時5分	午後4時15分	8人	大雨・洪水警報
対策本部	6月20日(金) ~21日(土)	20日・ 午後9時45分	21日・ 午前3時	28人	大雨・洪水警報
警戒本部 (事務局対応)	7月14日(月)	午後4時40分	午後6時50分	8人	大雨・洪水警報
警戒本部 (事務局対応)	7月15日(火)	午後6時15分	午後8時	8人	大雨・洪水警報 「土砂災害警戒 避難情報」受信
対策本部	7月28日(月)	午後1時30分	午後9時25分	48人	大雨・洪水警報
対策本部	9月21日(日)	午前9時	午前11時15分	41人	大雨・洪水警報
対策本部	9月21日(日)	午後3時50分	午後5時40分	22人	大雨・洪水警報

7 自主防災組織活動助成

(1) 森本地区浸水排除対策協議会に対し、活動費を助成した。

(2) 自主防火防災用器具設置事業

自主防災組織の育成強化を図るため、自治会等に対し、自主防火防災用器具設置事業補助規則に基づき、防火防災用器具を設置する町内会等の自主防火防災組織に対して事業費の2分の1の補助金を交付した。

ア 平成20年度中防災用器具設置町内数 4組織

(ア) 補助内容 水バケツ 12個、自治会用資機材(担架・ブルーシート・ツルハシ・長靴)

イ 平成20年度中消火器具設置補助町内会数 27組織

(イ) 消火器 176本(内訳 泡消火器 1本、粉末消火器 175本)

(イ) 格納箱 79個

ウ 平成20年度中消火器詰替補助町内会数 23組織

(7) 補助内容

a 泡消火器 39本

b 粉末消火器 68本

8 国民保護対策事業

(1) 4.23テロ災害合同訓練（岡崎公園） 4月

京都市内でのG 8外相会合の開催に伴う、危機管理機関合同によるテロを想定した実践的訓練

(2) 市町村国民保護セミナー（平安会館） 5月

京都国民保護共同図上訓練の成果と今後の市町村の訓練等への取組について

(3) 7市2町危機管理事務連絡会議（亀岡市役所） 10月

(4) 武力攻撃事態等における安否情報の収集・提供システム正式運用開始（4月25日）